

東京社保協 ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10

東京労働会館6F

TEL03-5395-3165 FAX03-5946-6823

東京社保協



医療・介護・福祉に国の予算を増やせ！

9. 26いのちまもる総行動

2,400人の現地参加・200か所でのオンライン視聴



日本医労連、保団連、全日本民医連などでつくる実行委員会の主催で、9月26日に東京・日比谷野外音楽堂で「いのちまもる総行動」が2400人の現地参加、200か所でのオンライン視聴で開催されました。

集会では、医療・介護・福祉現場での、低賃金・過重労働により人員確保が進まず、医療機関での病棟閉鎖や介護事業所の閉鎖などを招いており、国民の暮らしと健康に大きな影響を及ぼしており、マイナ保険証の問題でも、健康保険証の新規発行がの廃止が12月2日に強行されれば皆保険制度の崩壊を招きかねないとして、憲法を守り力を合わせて政治・政策の転換を求める声を広げていくことを確認しました。



集会後には、「医療・社会保障費を増やせ」「保険証残せ」「保健所増やせ」「地域の医療・介護を守れ」の声とともに銀座パレードを行いました。

各地域・団体の取り組み

渋谷社保協 第33回定期総会開催

渋谷社保協ニュースNo.1



8月27日に東京土建渋谷支部会議室にて渋谷社保協第33回定期総会を開催しました。

主催者を代表して小島副会長が「憲法を活かし、権利を行使して、政治と社会を変えていく新たな1年をつくろう」と挨拶し、五十嵐千代子区議から「区民が声を出せば区政は変えられる」との挨拶を受けました。

総括・方針、決算・予算、次期体制などの議案提案では、嘉瀬事務局次長から、粘り強い請願活動を通じて学校給食無償化の実現や、健康保険証存続で区議会意見採択など成果、困っている方への相談や食料支援活動の定着、学習や署名宣伝の取り組みを報告し、来期の方針として大軍拡を止め、軍拡予算を社会保障の機能強化を図る運動、健康保険証廃止を実施させない運動や国保・介護・保育などの区民要求の実現の活動、相談・支援活動の継続などに取り組むとする方針を提案しました。

議案討論では、代々木病院の原田さんが、診療報酬のマイナスが経営を苦しめていること、その影響に加え、国の医療従事者の処遇改善が極めて不十分になっていることに触れ、報酬の再改定を求めました。広尾病院を守る会の金井さんは、独法化後も職員の退職が止まらず、病棟が1部稼働できないままにしていることに触れ、直営に戻す署名の推進を訴えました。

提案はすべて承認され、総会アピールを採択しました。

マイナ保険証 ボイコット運動を！

板橋社保協ニュースNo.13



9月11日（水）、午後6時半より区立グリーンホールで保団連医療運動推進本部事務局・中央社保協運営委員の曾根貴子さんを講師に「どうなっているの?!健康保険証緊急学習会」が開かれ、93名が参加しました。

曾根さんは、①マイナンバーカードを進める政府のねらいは「デジタル監視社会」であり、②保険証をなくし、マイナ保険証の推進、資格確認証の発行はいつでも・どこでも誰でもが保険証1枚で受診できるという国民保険制度の廃止につながり、③健康保険証の存続を強く求めるには「保険証を使い続け、マイナ登録でマイナ保険証の利用率を上げない、マイナ保険証を減らす⇒マイナ保険証・ボイコット運動」が喫緊の課題であり、「健康保険証を残して下さい」署名の協力を訴えました。

続いて、日本共産党の石川すみえ区議会議員より板橋区の資格確認証の取扱い方針等について報告がありました。

国民健康保険及び後期高齢者医療保険については、区及び協会けんぽなどはそれぞれの保険者から郵送されることになっていること、12月2日以降は、資格証と短期証も廃止になりますが、資格証は「特別療養費」扱いで窓口10割負担になる仕組みを続けようとしています。短期証に代わるものはないので、区は、催告と財産調査と差し押さえのやり方を変えて早めの差し押さえを検討している、などでした。

各地域・団体の取り組み

区長へ、緊急申入れ

板橋社保協ニュースNo.13

9月18日(木)、マイナ保険証への切り替えで医療が受けられないのではと不安を感じている方が多いことが分かり、社保協として緊急に区長へ「医療を受ける権利を守ることを求める申し入れ」を山本会長、船木副会長及び金崎事務局長で行いました。

●申し入れの概要は次のとおりです。

1. 現行の健康保険証の存続を政府に対し強く意見を上げること。
2. 12月2日以降、資格証明書、短期証が新規発行廃止となることに伴う、新たな徴収強化対策は行わないこと。
3. 高すぎる国保料、後期高齢者医療保険料を引き下げること。



「あわててマイナ保険証つくらなくても大丈夫」学習会

西東京社保協

9月28日、西東京社保協ではマイナ保険証についての学習会を、東京保険医協会の小形事務局長を講師に会場いっぱいの40名の参加で開催しました。



4の日 巣鴨駅宣伝

10月14日(土)

11月14日(木)

12時から13時

東京都議会9月議会 開会日行動



マイナ保険証の押し付け 反対 保険証を残せ

11.7大集会

11月7日(木) 13時より日比谷野外音楽堂にて保険証残せの大集会を開催します。詳細はまた連絡します。



第52回東京社会保障学校 10月19日（土）開催

東京社保協では、10月19日（土）13時よりけんせつプラザ東京にて、第52回東京社会保障学校を開催することとなりました。今回は「社会保障の財源問題と税制改革・社会保障改革の方向性」というテーマで鹿児島大学の伊藤周平先生を会場にお呼びしてメイン講演を行います。また、大学院生や高齢者より実態を報告していただきます。参加登録も始めていますので是非お申し込みをお願いします。

参加登録はURL・QRより

<https://x.gd/IDodk>



Tokyo Social Security School 52nd No.2

■ 記念講演
伊藤 周平 鹿児島大学教授
伊藤先生も会場参加予定
1960年生まれ。
鹿児島大学法文学部教授。専攻は社会保障法
東京大学大学院修了。労働省（現厚生労働省）、社
会保障研究所（現国立社会保障・人口問題研究所、
法政大学助教授、九州大学助教授を経て、2004年よ
り鹿児島大学法科大学院教授。2017年より現職。

日時：2024年10月19日（土）
13:00~16:30
場所：けんせつプラザ東京+ZOOM併用

13:00 開場・ZOOM接続
13:30 開会・挨拶
記念講演
質疑応答
15:35 指定報告①
15:55 指定報告②
16:20 行動提起
16:25 閉会・挨拶

第52回東京社会保障学校
参加申し込みフォーム

QRコード、または下記URLの
フォームよりお申し込みくだ
さい。登録したメールアドレス
宛に必要な情報が自動返信さ
れます。
<https://forms.office.com/r/gGkzswfEG>
会場参加の方のみ、FAXでも
受け付けられます。

第52回
東京社会保障学校

社会保障の財源問題と税制改革・
社会保障改革の方向性

地域社保協学習交流集会 11月30日（土）開催

国民皆保険制度の根幹である保険証の存続を求め、来るべき来年7月の都議会議員選挙・参議院選挙を見越し都内立候補者に対して地元の社会保障をめぐる要求と合わせ、東京で統一した要求を掲げて、そのなかでも保険証の存続を選挙の争点に押し上げていく運動を提起・意思統一するために地域社保協学習交流集会を開催します。各地からの協力をお願いします。

東京社保協 2024年度
地域社保協学習交流集会
11月30日（土）14時~16時半
けんせつプラザ東京・オンライン
ミーティングID: 857 2012 3739 パスコード: 024954

学習講演：国民健康保険制度は今
～国民皆保険制度の危機を乗り越えられるか～

国民皆保険制度崩壊の危機、保険証の存続を選挙争点に
来る来年7月の都議会議員・参議院同時選挙に向けて
地元・地域の要求とともに東京全体での社会保障改善要求を
すべての候補者へ届けよう！！

会場地図
けんせつプラザ東京
新宿区北新宿1-8-16
JR 新大久保駅より徒歩10分

参加対象：社保協運動にかかわる方

- 学習講演講師
神田敏史氏プロフィール
神奈川県社会保障推進協議会代表委員、神奈川県自治労連執行委員、神奈川県職員労働問題研究所理事
- 各地からの報告
- 行動提起
都議会議員・参議院選挙に向けた意思統一

神奈川県代表委員
神田敏史氏

国民健康保険証新規発行廃止に伴う「資格確認書」送付等に関するアンケート 進捗

狛江市、練馬区、小平市、調布市、八丈町、御蔵島村、江東区、清瀬市、東久留米市、港区、江戸川区、足立区、福生市、中野区、町田市、葛飾区の16自治体より回答がありました。問い合わせなど複数の自治体よりあります。

各地域・団体からも問い合わせさせていただきますようお願いいたします。

国保・年金課などでは、マイナンバーカードや電子証明書の有効期間を把握できていない回答などが多くありました。

回答状況はこちら
から閲覧できます

